

はじめてのスペイン語講座

第17回 命令を表す表現



HOLA みなさんこんにちは!

さて、今回は命令形について勉強してみましょう。

命令形は、誰かに何かを命令する場合だけでなく、何かをお願いしたい時にも使えるので、覚えておくとても便利です。残念ながら、Usted (目上の人に対するあなた・単数) と Ustedes (前述のUstedの複数形) の形、および否定の命令形は、接続法を伴うためここでは勉強しませんが、TúおよびVosotrosに対しての肯定の命令形を学んでいきましょう。

#1

① Túに対する命令形

まずは、[Tú(あなた)]に対する命令形の作り方を勉強していきます。

また、活用形を覚えるのか…と落胆しているあなた!安心してください。実は…とても簡単なんです!なぜなら、Túに対する命令形は、「直接法現在形の三人称・単数」の形と同じだから。

わかりやすいように、実際の動詞を使って説明します:

例えば、[COMER(食べる)]という動詞ですが、直接法現在形では以下のように活用されますね。

	主語・単数形		主語・複数形	
一人称	Yo	como	Nosotros/Nosotras	comemos
二人称	Tú	comes	Vosotros/Vosotras	coméis
三人称	Él/Ella/Usted	come	Ellos/Ellas/Ustedes	comen

この中で三人称単数形はÉl/Ella/Ustedを主語とする**come**という活用になります。

これをそのまま命令したい相手に言えば、「**¡COME!**(食べろ)」という意味になります。どうですか?意外と簡単でしょ?

※この時に気をつけて欲しいことは、感嘆符の付け方です。

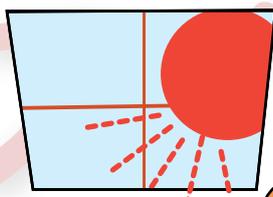
命令という性質上、この感嘆符をつけることがほとんどですが、スペイン語の場合、「¡~!」と、前にも付けることがルールです。同様に疑問符も「¿~?」となりますので、忘れずに。

ただし、残念ながら上の方法は不動のルールではありません。右の8つの動詞は例外として特別な形に変わります。

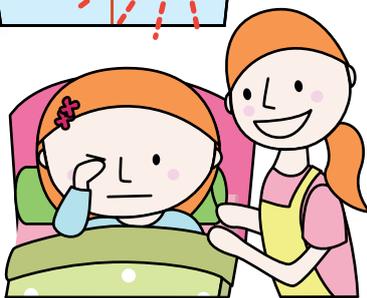
PRENDE! 覚えましょう!

命令形の際に不規則活用を用いる動詞

1. Decir (言う) → **Di**
2. Hacer (する, 作る) → **Haz**
3. Ir (行く) → **Ve**
4. Poner (置く) → **Pon**
5. Salir (出る) → **Sal**
6. Ser (~だ) → **Sé**
7. Tener (持つ) → **Ten**
8. Venir (来る) → **Ven**



¡Levántate!
起きなさい!



次に、再帰動詞の命令形も覚えておきましょう。

例えば、[Levantarse(起きる)]ですが、まず直接法の活用は次の通りですね。

	主語・単数形	
一人称	Yo	me levanto
二人称	Tú	te levantas
三人称	Él/Ella/Usted	se levanta

再帰動詞の場合もやはり、使うべきは三人称単数の活用形です。

三人称単数形の[Se levanta]のLevantaだけを取ってきて、その後ろに、teをつけます。Levanta+te、これを続けて表記し、**¡Levántate!**としたのが、正しい再帰動詞の命令形です。ちなみに、発音の一番強いところは、teをつけないときのまま。通常Levantateのままだと、Levantateと最後から2番目のaにストレスがおかれるのですが、正しくはLevantate(最初のaにストレス)なので、**¡Levántate!**とアクセント記号をつけるのを忘れずに!

②次にVosotros / Vosotras (あなたたち)に対する命令形の作り方も覚えましょう。

こちらには、Túの時のような例外の形をとる動詞はありません。すべての動詞の不定詞から語尾の「r」を取って、代わりに「d」をつけます。

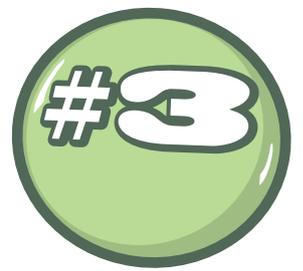
しかし、再帰代名詞の場合は、もう少し複雑です。

通常なら、Túに対しての命令のように、Levantad + os → Levantadosにしたいところですが、これは間違いです。正しくは、Levantadから語尾のdをとり、osをつけて、**¡Levantaos!**になります。

¡Levantaos!の場合は、そのままでも正しい位置(Levantaos)にアクセントがくるので、アクセント記号は必要ありません。しかしながら、例えば《Vestir》という動詞の場合のように、そのまま(Vestios)では正しい位置(Vestios)にアクセントがこない場合には、iVestios!とアクセント記号を添えなくてはなりません。ややこしいですが、くれぐれも気をつけて!

例
Cocinar → Cocinad
Comer → Comed
Ir → Id

#2



② 目的語を伴う命令形

最後に、直接・間接(またはその両方)の目的語を伴う場合の命令形の作り方を覚えましょう。

少し複雑ですので、がんばってくださいね。

下の絵を見て下さい。

マリさんがミキちゃんのペットのワンちゃんとボール遊びをしています。

「ボールを(私に)ちょうだい!」と言いたいとき、「与える」という意味の動詞 *Dar* を使って命令文を作りましょう。

《〜に》という表現については次の表を参照して文章を作りましょう。

¡Dame la pelota! = *¡Dámela!*

(ボール)を私にちょうだい!



me	te	le	nos	os	les
私に	君に	彼に/彼女に/ あなたに	私たちに	君たちに	彼らに/彼女らに/ あなたたちに

上の表を参照すると、「私に」と言いたいときは *me* を使います。

通常の文章の場合、動詞の前に *me* を置くことがほとんどですが、命令形の場合は動詞の後になります。動詞 *Dar* の「r」を取って *Da+me* ですが、再帰動詞の場合同様くっつけて表記しますので、*Dame* となります。そして、ボールは *la pelota* なので、*¡Dame la pelota!* で、「ボールを私にちょうだい!」となります。

ただし、ボールが既に既知のものであるとき、*la pelota* と何度も繰り返すのはあまり美しくありませんよ。そこで、以下の表を見て下さい。

男性名詞・単数形	女性名詞・単数形	男性名詞・複数形	女性名詞・複数形
lo	la	los	las

上の表のように、繰り返しをさけるために目的語を言い換えることができます。

La pelota は女性名詞単数形なので、上の表を参照すると *la* になりますね。

Dame la pelota → *Dame + la* → *¡Dámela!* と全てくっつけてしまいましょう。*la* をつけることにより、アクセントの位置が変わりますので、アクセント記号を忘れずに!

※文法的な説明になりますが、上記の文章の場合、*me* は間接目的語、*la* は直接目的語と呼ばれます。

そして最後の難関です。

右の絵を見て下さい。今度は、マリさんが、ワンちゃんに、「ミキちゃんにボールをあげて!」と言っています。

「このボールを彼女にあげて!」というのは何と言うのでしょうか? 動詞は変わらず *Dar* を使います。

「そ〜んな簡単! 私に」の *me* の代わりに「彼女に」を表す *le* を使えばいいんだから、*Dálela* でしょ?」なんて思っていないですか?

惜しい! 考え方はもちろん正しいのですが、ここで、更なるルールが存在するのです。

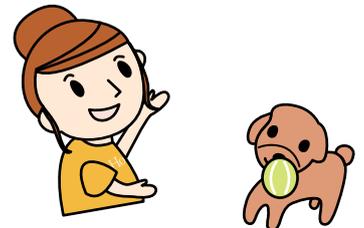
le + lo/la/los/las をあわせて使うとき、*le* は *se* という形に変身します。

つまり × *¡Dálela!* ではなく、

○ *¡Dásela!*

が正しい形です。これは、*le* が *les* になった場合でも同じことですので、気をつけて下さいね!

今回は覚えることがたくさん出てきて大変でしたね。でも、命令形を覚えると、また新しい表現が出来ます。間違いは恐れずに、どんどん使って覚えていきましょう!



¡Dale la pelota! = *¡Dásela!*

(ボール)を彼女にあげて!



《命令形を使わない「お願い」の形》

今回のテーマは、「命令形」でしたね。「命令形」という名前はあるのですが、当然のことながら、相手に上から命令する時だけでなく、何かを「お願い」したいときにも、使えます。その時には必ず《por favor》を付けて下さいね。

- *Abre la ventana, por favor.* (窓を開けて下さい。)

ちなみに、《por favor》は文章の最初でも最後でも、どちらに付けても大丈夫です。

ただ、今回勉強した中には、《Usted》や《Ustedes》に対する命令の作り方は入っていませんでした。これを勉強するのは継続法を勉強してからになりますが、今日は《Usted》にも《Ustedes》にも使える魔法のフレーズを覚えておきましょう。

それは、《podría》です。この《podría》は、「〜できる」という動詞《poder》の過去未来の三人称単数形なのですが、難しいことはこの際一旦忘れてしましましょう。

この《podría》の後に、動詞の原型を持ってくるだけで、《Usted》に対する「お願い」の形が出来てしまいます。例を見て下さい。

- *¿Podría abrir la ventana?* (窓を開けていただけますか?)

例のように、とても丁寧な表現が簡単に出来ます。この後に《por favor》を付けてももちろんOKです! 《Ustedes》に対する場合は、《podría》の代わりに《podrían》を用いて下さい。なお、この文章は疑問文ですので、クエスチョンマークを忘れずに。



- ・一般・旅行・商業・DELE検定対策・プライベートなど目的やベースに合わせて選べるコース
- ・ネイティブ講師だからプチ留学気分
- ・自然なスペイン語がマスターできる!
- ・振替ができるので忙しくても安心!
- ・月謝払いOK!
- ・無料体験レッスン、教室見学等☆随時受付中

スペイン語教室 ADELANTE

〒530-0001 大阪市北区梅田2-5-8 千代田ビル西別館2F

TEL: 06-6346-5554 ・ FAX: 06-6110-5122

E-mail: info@adelante.jp ・ http://www.adelante.jp

イラスト: 田中文字子